

# 進路つうしん

くわな特別支援学校 進路部 NO.4 2026. 3. 5



卒業おめでとうございます



暖かい日が増えてきました。明日は、いよいよ卒業式です。進学される児童・生徒の皆さん、社会に旅立られる生徒の皆さん、卒業おめでとうございます。

高等部を卒業される皆さんは、4月からは新しい生活が始まります。これからの社会生活に向けて、今、期待と不安が混ざっていることと思います。もし、何か悩み事がでてきたら、まず周りの大人や家族に相談してみてください。また、いつでも学校に相談に来てください。いつでもお待ちしております。

今回の通信では高等部卒業生の進路状況や現場実習を終えて寄せられたご意見等を紹介します。

## 高等部3年生進路状況

進路先	生活介護	就労継続支援B型	企業	就労移行	自立訓練	地域包括支援センター	未定	計
人数	4名	11名	7名	2名	1名	1名	1名	27名

### <生活介護>

オレンジ工房あげき、よつばの里

### <就労継続支援B型>

いなべ市障害者活動支援センター、風の子スクエア弥富、セラヴィ、ヒマワリ、すずらん農園、きぼうわーくす、しおさい、風の子スクエア桑名



### <地域活動支援センター>

桑ぱん

### <就労移行支援>

ヴェルチュ

### <自立訓練>

スタート

### <企業>

【製造技術職】エイベックス株式会社、

【軽作業】株式会社デンソーワイズテック東員工場

【箱の組み立て作業】株式会社 柿安本店

【倉庫内作業】生活協同組合 東海コープ事業連合桑名セットセンター

【花卉園芸係】長島観光開発 株式会社 ナガシマリゾート

【清掃】日本郵便株式会社 東海郵政研修センター

(敬称略)

## ■ 高等部「現場実習」を終えて

本年度も企業・福祉事業所にご協力いただき、高等部の現場実習をさせていただくことができました。



高等部3年生は、これまでの現場実習をふまえて卒業後の進路先を決定する実習となりました。2年生では進路実現に向けての要の実習となり、自分と向き合う機会となりました。1年生は初めての現場実習で緊張の中、体調を崩すことなく一週間実習することができました。

実習後に生徒一人ひとりが次の実習につなげるためにそれぞれの成果と課題の振り返りをしています。実習先の企業からは、企業・福祉事業所問わず「はたらく」ことに関して以下の力を求められています。これらのことは、普段の学校生活でも取り組んでいます。高等部だけでなく小学部、中学部のみなさんも家庭や地域生活のなかで意識していくことが大切です。

### <あいさつができる>

仕事をするうえでの基本です。

まずは家庭で、毎日、朝のあいさつからはじめましょう。

### <毎日出勤できる>

特に企業においては、遅刻せずに毎日出勤できる力が求められます。

普段から、毎日登校することを心がけましょう。

### <すすんではたらく態度がある>

家庭での手伝いからはじめましょう。できる範囲で家庭での「自分の役割」を持ちましょう。



### <安全意識がある>

「安全に働くこと」は、どの企業・福祉事業所でも重要とされています。普段から危険なことを意識できるように経験を積んでおきましょう。

### <指示通りに作業できる>

まずは、指示されたことをそのとおりにできることから始まります。説明を受け、確実にできる事を意識してみましょう。

## ■ 移行支援会議（高3）・進路懇談会（高2）

2月17日(火)～19日(木)に高等部3年生対象の移行支援会議を行いました。移行支援会議は、学校生活から卒業後の地域生活への移行について個別に関係機関と懇談する会議で、生徒本人、保護者、グループ担当、進路専任、各市町福祉課担当者、障がい者総合相談支援センターそういん(就職予定者のみ)、ハローワーク桑名(就職予定者のみ)、計画相談員、他関係機関が参加しました。会議では、それぞれの進路について情報共有し、卒業後の生活や仕事で不安に感じていることなどについて話し合いました。また、手帳の更新と障害年金の申請手続き、今後の支援や連携について、相談支援機関であるそういん・ハローワーク・福祉課からの説明がありました。



3月10日(火)～12日(木)には高等部2年生対象の進路懇談会があります。進路懇談会は、生徒の自立と社会参加に向けて、卒業後の進路や生活、高等部3年時の現場実習先などについて懇談します。参加する関係機関は移行支援会議と基本的に同じです。